

豊島区立朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型 小中連携校および総合体育場の整備等を 考える会

スポーツ施設検討部会②

9月25日（木）

本日のプログラム

- 18:30～18:40 はじめに【10分】
(STEP 3に向けて、本日の流れ)
- 18:40～19:05 グループワーク①【25分】
～総合体育場としてのありたい姿～
(基本方針・整備方針・機能連関)
- 19:05～19:15 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:15～19:40 グループワーク②【25分】
～学校との共用について考える～
- 19:40～19:50 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:50～20:00 議論のまとめ・閉会の挨拶【10分】

本日のプログラム

- 18:30～18:40 はじめに【10分】
(STEP 3に向けて、本日の流れ)
- 18:40～19:05 グループワーク①【25分】
～総合体育場としてのありたい姿～
(基本方針・整備方針・機能連関)
- 19:05～19:15 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:15～19:40 グループワーク②【25分】
～学校との共用について考える～
- 19:40～19:50 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:50～20:00 議論のまとめ・閉会の挨拶【10分】

年間予定表

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
マスター工程	STEP 1 「知る」 ビジョンの共有や 既存施設・先端事例についての勉強会開催			STEP 2 「夢を描く」 より詳細な情報共有・勉強会開催 のうえ、ありがたい姿・課題を整理		STEP 3 「カタチにする」 コンセプトをもとにした機能連関・配置計画の検証 ※STEP2の内容を踏まえて設計者が作成した成果物をもとに方針や課題を整理				
全体	全体共有会 ・区のビジョンを知る ・考える会の進め方の共有 勉強会 ・既存施設を知る 継承したい点 改善すべき課題等 勉強会 ・最先端事例を知る 学校とスポーツの 先進的な取り組み					コンセプト + 計画方針 ・検討部会や アンケートの 声も共有 機能連関 + 配置 ・各機能の関係性 を考える 隣接、近接の配置関係 繋ぎ方・区切り方 配置計画 ・機能配置案ごとの 良い点・課題を抽出 機能配置案は 設計者にて複数用意 提言書 (案) ・成果 まとめ				
学校施設 検討部会	各勉強会で扱った内容は 振り返りやすいよう、 まとめシートを作成・配布			勉強会 先端学校 事例に学ぶ 先端の学校施設の 機能や設え 意見交換会 小中連携 について 意見交換 ワーク ありがたい姿 と課題 ワーク ありがたい姿 と課題 まとめ		設計者にて用意した プラン、イメージ図・写真、模型を使って、具体的に議論				
スポーツ施設 検討部会				ワーク ・2年にわたる検討 内容の振り返り ・スポーツ施設の 共用部について ワーク ・スポーツと 学校の連携 ・ありがたい姿 と課題		検討部会の声と 多様なまちの声をもとに ありがたい姿として コンセプト（案） を作成 設計者にてたたき案を作成				
子ども ワークショップ				第1回 3校それぞれ ワークショップ ・学校の好きなところ ・小中一緒になったら したいこと 第2回 3校合同 ワークショップ ・スポーツ施設が一緒 になったらしたいこ と 第3回 3校合同 発表会 ・成果発表 ※検討部会より 代表者数名も参加 子どもたちの 成果品を共有						
イベント	多様なまちの声を集める 学校・スポーツ施設の整備について 地域のみなさんの声を聞くブースを出展			▼ファーマーズマーケット (7/13)		▼としまスポーツまつり＆防災フェス (10/13)				
アンケート				▼アンケート配布 (7月中旬)		▼アンケート回収 (9月初旬)				

とりまとめ

とりまとめ

STEP 3 「カタチにする」の進め方

※参考：千川中学校建替え基本構想に関する（考える会）提言書

〈コンセプト＋計画方針〉

【10月】

コンセプト



都市の文化と歴史に包まれて、
楽しく学び、仲間と集い、
地域と共に歩んでいく 千川中学校

計画方針

1. 生徒たちの楽しい居場所となる学校

①○○○○○

2. 千川中学校らしさが現れた学校

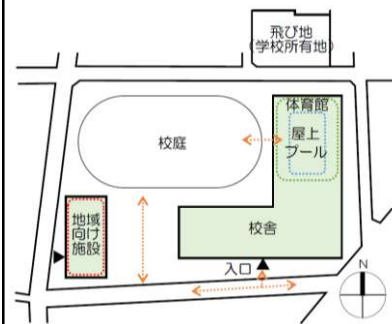
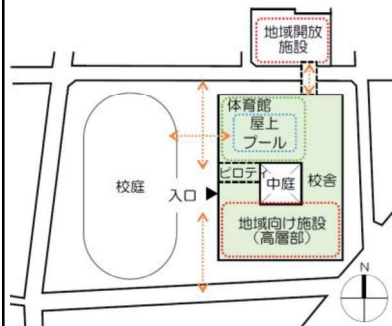
①○○○○○

整備方針

教室	普通教室	・学習に集中できる ・楽しい場所となる
	特別教室	

〈機能連関＋配置計画〉

【11月・12月】



いくつかの配置・建物ボリュームを検討し
良い点・課題を抽出

〈提言書〉

【1月】

これまでの意見のとりまとめ

スポーツ施設検討部会でのスポーツ施設としてのありたい姿
(意見や想い)

| 今回の会議の進め方

ワーク①

総合体育場としてのありたい姿

グループワーク



- ・ 基本方針・整備方針を議論
- ・ 加えたい視点や文言について議論

発表



ファシリテータが出てきた意見をまとめ、発表する

ワーク②

学校との共用について考える

グループワーク



こどもワークショップの内容や前回の議論内容から、学校との共用について議論

発表



ファシリテータが出てきた意見をまとめ、発表する

本日のプログラム

- 18:30～18:40 はじめに【10分】
(STEP 3 に向けて、本日の流れ)
- 18:40～19:05 **グループワーク①【25分】**
～総合体育場としてのありたい姿～
(基本方針・整備方針・機能連関)
- 19:05～19:15 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:15～19:40 グループワーク②【25分】
～学校との共用について考える～
- 19:40～19:50 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:50～20:00 議論のまとめ・閉会の挨拶【10分】

| ワーク① 総合体育場としてのありたい姿 ー基本方針ー

基本方針 ～こんな総合体育場にしたい～

1:各競技の設備が充実した最先端の施設

①競技スペースや設備が充実

- ・十分なスペースの確保
- ・いつでも思い切りからだを動かせる
- ・駐輪場、駐車場などの地下利用による地上の有効活用

②時代と地域に合った総合体育場

- ・真の「総合的な」スポーツ施設
- ・様々な世代の方がスポーツに親しめる施設
- ・豊島区にしかない施設

2:年齢や立場の垣根がなく誰でも使いやすい施設

①年齢や障害の有無に関わらず、誰もがつかいやすい施設

- ・障害を持っている方の活動の場が継続できる
- ・全世代が利用できるバリアフリー化
- ・乳幼児の子供を持つ親御さんのために「授乳室」を用意

②いつでも・だれでも使いやすいシステム

- ・多言語に対応したシステムの導入
- ・時代に合った予約システム

3:地域を活性化させるような多世代の交流が生まれる施設

①学校と連携しスポーツに親しむ機会を増やす

- ・プロ、外部指導者による小中学生への部活指導
- ・子どもたちがレベルの高いスポーツに接することができる
- ・小中学生とスポーツ利用者の交流の広がり
- ・スポーツ大会や運動会などが互いに大々的にできる

②多様な公共施設としてのニーズに応え地域に愛される施設

- ・イケサンパークから気軽に足を運べる施設づくり
- ・地域のよりどころとなる
- ・豊島区のスポーツランドマーク的施設
- ・備蓄面・機能面で防災拠点機能の強化する

③交流が生まれる多様な空間・活動

- ・交流スペースの充実
- ・スポーツを地域交流の軸とする可能性

※計画段階につき、変更が生じる場合がございます

ワーク① 総合体育場としてのありたい姿 ー機能連関図ー

機能連関図

基本方針

1:各競技の設備が充実した最先端の施設

1-① 競技スペースや設備が充実

1-② 時代と地域に合った総合体育場

2:年齢や立場の垣根がなく誰でも使いやすい施設

2-① 年齢や障害の有無に関わらず、誰もがつかいやすい施設

2-② いつでも使いやすいシステム

3:地域を活性化させるような多世代の交流が生まれる施設

3-① 学校と連携しスポーツに親しむ機会を増やす

3-② 多様な公共施設としてのニーズに応え地域に愛される施設

3-③ 交流が生まれる多様な空間・活動

学校施設

学校スポーツ

武道場

プール

体育館

連携

地域開放
エントランス

【地域】

総合体育場

テニス

1-①

1-①

体育室

3-③

1-①

弓射場
(弓道)

1-①

弓射場
(アーチェリー)

3-②

イケサンパーク

エントランス

事務室

会議室

更衣室

交流ロビー

3-③

3-②

防災倉庫
作業スペース
廃棄物置場

外から直接出入り可能

1-①

駐車場
駐輪場

3-②

校庭

3-①

野球場

※計画段階につき、変更が生じる場合がございます

ワーク① 総合体育場としてのありたい姿 一整備方針一

整備方針 ～こんな風につくりたい～

総合体育場全体	設え	・近隣への騒音等にも配慮した設えとする ・地域特性に合わせた、都心のランドマークとなるような施設とする
	機能	・多世代の交流が生まれ、生涯スポーツの拠点となる総合体育場とする ・開放感を感じられる空間をつくる ・エレベーター設置を含みバリアフリーの建物とする ・防犯カメラの設置など防犯対策に配慮する ・防災機能を充実させる ・児童・生徒と体育施設利用者の動線を分離し、安全に使用できるつくりとする
各競技スペース	庭球場	・コート間は4mの間をあける ・コート背面には最低6mのスペースを確保する ・高さは最低でも9mは確保する ・照明や壁面の色など、ボールが見やすい工夫を施す ・ギャラリースペース、待機場所を確保する ・大会運営用の本部席を設けることのできるスペースを確保する ・十分な広さの倉庫をつくる ・カーペットコートの場合は靴箱を設ける ・壁にぶつかったボールがコート内に戻らないよう工夫を施す。 ・理想はオムニコートとすることが実現可能性を考慮し設計する ・オムニコートとして整備する場合は砂を落とせるスペースをつくる
	弓射場（アーチェリー）	・81m×13mの競技スペースを確保する ・幅13mの内訳は、競技者6人の間隔1.8m×5+両側2mとする ・長さ81mの内訳は、射距離70m+的の後ろ2m+射場3m+控え3m+待機3mとする ・控え、待機スペースの配置は建物形状に合わせて調整する ・的の場の近くに倉庫をつくる ・一般の人が見学できるスペースを確保する ・指導員が待機できる場所や作業スペースを設ける ・階高は6～7m確保する（弓道利用時に必要となる）
	弓射場（弓道場）	・倉庫や控室合わせて、50m×15mのスペースを確保する ・長さ50mの内訳は、射距離28m+安土2m+射手2m+本座2m+控え5m+各種スペース11とする ・幅15mの内訳は、競技者6人の間隔1.8m×5+両側2m+審判席2mとし、矢取道や看的所、倉庫などもこの中で確保する ・各種スペースはワンフロアとし、巻き藁（2人分）、作業スペース、講師控えなども含む ・控えと各種スペースの間に移動間仕切りを設置する
	体育室（卓球場）	・多目的利用を前提とした空間とする ・ダンスやヨガでの利用を想定し、鏡を設置する ・卓球台8台以上が収納できる倉庫を設置する ・車椅子スポーツの体験ができる設えとする ・遮光性や、光量、色温度に配慮する ・利用のイメージに合わせた室名とする ・音響設備を充実させることで、音楽面での多目的利用も促進させる ・移動間仕切りを設置し、可変性を高める

諸室・共用部	野球場	・2面の野球場（現状と同規模）を確保 ・照明をLED化する ・防球ネットの高さを引き上げる ・センターの位置に気を付けて整備を行う ・防音壁の設置等、近隣への配慮を行う ・選手の待機・準備場所を確保する ・野球場側に車が進入可能な入口を設置 ・左右翼で約80mを確保し、可能であれば90m確保する ・野球場としての利用に特化した人工芝を選定する ・大会本部・審判室（熱中症対策の為、エアコン設置）や各連盟ごとの倉庫、グラウンド専用トイレ・水道設備を充実させる ・車いすやベビーカー利用者に配慮した観覧席の設計とする
	エントランス	・十分な広さを確保したスペースとする ・交流の生まれるようなつくりとする ・椅子や机、自販機を設置し休憩スペースとしても活用する ・エントランスより先は土足禁止とする ・野球場から使いやすい位置に出入口を設ける
	管理諸室	・受付は1階とする ・管理者用の更衣室を確保する ・休憩室と浴湯室を設ける ・医務室を設置する
	更衣室・シャワー室	・各競技スペースから使いやすい配置、個数とする ・利用人数に合わせたシャワー台数を確保する ・障害を持った方も使いやすいつくりとする
	トイレ	・各競技スペースから使いやすい配置、個数とする ・きれいで居心地の良い場所とする ・感染症対策を考慮する
	授乳室	・各競技スペース方使いやすい場所に確保する
	会議室	・多目的な使い方が可能なつくりとする
	駐車場・駐輪場	・渋滞防止のため入口位置を考慮する ・日常利用において、十分な台数を確保する ・車椅子利用者にも配慮した設計とする
	屋外・通路	・障害を持った方も使いやすい設計とする
	環境への配慮	・建物の断熱化や陽射しを遮る工夫を施す ・敷地内の緑化の推進を図る
土地の有効活用ほか		・イケサンパークとの連携を図れるつくりとする

※計画段階につき、変更が生じる場合がございます

15分

テーマ

総合体育場としてのありたい姿

①基本方針・整備方針の内容を確認

②追加・修正したい内容について議論

本日のプログラム

- 18:30～18:40 はじめに【10分】
(STEP 3に向けて、本日の流れ)
- 18:40～19:05 グループワーク①【25分】
～総合体育場としてのありたい姿～
(基本方針・整備方針・機能連関)
- 19:05～19:15 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:15～19:40 グループワーク②【25分】
～学校との共用について考える～
- 19:40～19:50 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:50～20:00 議論のまとめ・閉会の挨拶【10分】

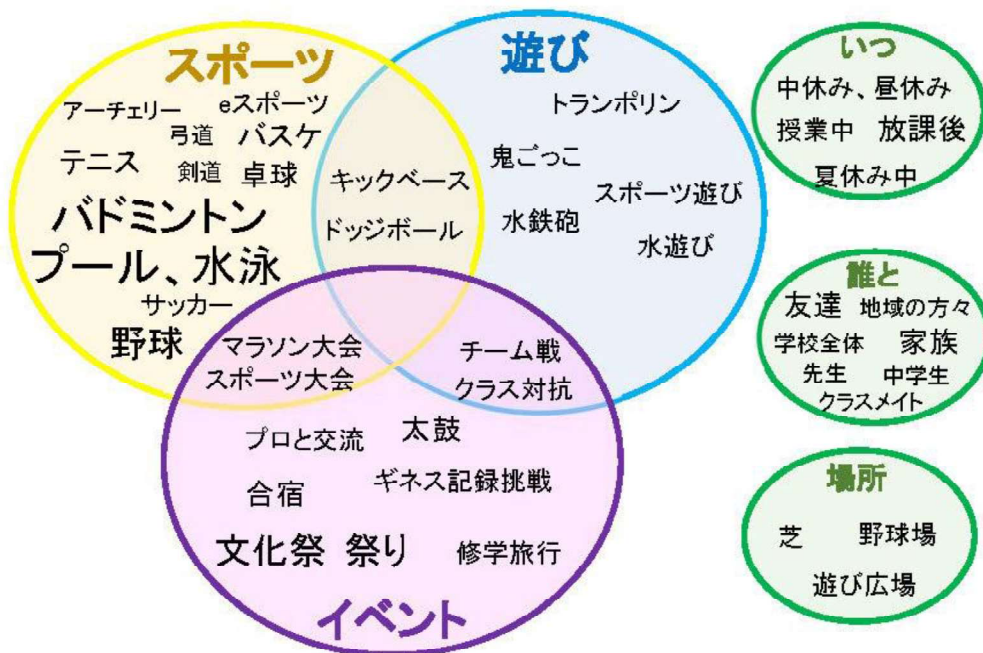
本日のプログラム

- 18:30～18:40 はじめに【10分】
(STEP 3 に向けて、本日の流れ)
- 18:40～19:05 グループワーク①【25分】
～総合体育場としてのありたい姿～
(基本方針・整備方針・機能連関)
- 19:05～19:15 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:15～19:40 **グループワーク②【25分】**
～学校との共用について考える～
- 19:40～19:50 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:50～20:00 議論のまとめ・閉会の挨拶【10分】

| こどもワークショップ・ファーマーズマーケットの内容を共有

子供たちと地域の期待

朋有小5年生 スポーツ施設と学校が一緒になるとしたらどんなことをしたい？



まとめ

意見を項目ごとにまとめると、スポーツ、イベント、遊びの3項目に分けることができた。スポーツでは卓球、水泳、テニスをやりたいという意見が多く、eスポーツがやりたいという意見も散見された。また、「みんなで」という文言が多く使われており、大人数で一緒にスポーツを楽しみたい意が読み取れる。そして、イベントではお祭りやスポーツ大会が多く挙げられており、学校のみならず、先生、地域の方々などを巻き込んで行いたいという、クラスの枠にとどまらない意見を多く見る事ができた。

地域 学校と総合体育場の一体的活用において重要だと感じる項目

スポーツ		
生涯スポーツ実現	総合的なスポーツ施設	競技場としての活用
区民:10票 都民:7票 その他:0票	区民:25票 都民:11票 その他:2票	区民:4票 都民:2票 その他:0票

地域				
防災	まちに開かれている	地域の中心	伊ヶサンパークとの接続	この地域で生活したくなる
区民:14票 都民:9票 その他:1票	区民:6票 都民:2票 その他:0票	区民:7票 都民:0票 その他:0票	区民:2票 都民:3票 その他:1票	区民:9票 都民:6票 その他:2票

スポーツ

生涯スポーツ
体育場に通える
暑い中でも遊べる
子どもが元気いっぱい遊べる
健康になれる施設
ローラースケート

プールの地域開放
多世代交流
体育場を核に
いろんなイベントが行える
体育館開放

地域

地域交流センター
防災拠点
住み続けたい
地域の繋がり
誰でも来やすい
伊ヶサンパークとの連携
子供の安全な遊び場が欲しい

第1回スポーツ施設検討部会で出た意見

・学校施設と一体になるメリットを活かしたい。

- 1) 管理室×主事室
- 2) 学校体育施設を一般体育施設として移管。学校は優先的にカリキュラム利用が可能にするなど
- 3) 南側道路はもっと利活用含め区として大胆な発想が必要では⇒道路を廃止して、敷地として使える面積を増やせば、アーバンスポーツとして使える

20分

テーマ

学校との共用について考える

視点①:小中学生が使える総合体育場の空間・そこでの活動

視点②:共用したい学校の空間・そこでの活動

本日のプログラム

- 18:30～18:40 はじめに【10分】
(STEP 3 に向けて、本日の流れ)
- 18:40～19:05 グループワーク①【25分】
～総合体育場としてのありたい姿～
(基本方針・整備方針・機能連関)
- 19:05～19:15 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:15～19:40 グループワーク②【25分】
～学校との共用について考える～
- 19:40～19:50 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:50～20:00 議論のまとめ・閉会の挨拶【10分】

本日のプログラム

- 18:30～18:40 はじめに【10分】
(STEP 3 に向けて、本日の流れ)
- 18:40～19:05 グループワーク①【25分】
～総合体育場としてのありたい姿～
(基本方針・整備方針・機能連関)
- 19:05～19:15 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:15～19:40 グループワーク②【25分】
～学校との共用について考える～
- 19:40～19:50 全体で意見共有（ファシリテーターにて発表）【10分】
- 19:50～20:00 議論のまとめ・閉会の挨拶【10分】

ありがとうございました